

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 102 2012.11.4 連絡先 402-1622 >

場外馬券売り場（ぶらくり丁） 業者が市に設置計画提示

10月12日、市の総務公室政策推進部企画課より各会派に「地方競馬場外勝馬投票券発売所『（仮称）DASH和歌山』設置に関する資料提供について」という文書が届けられました。

事業計画書を市に提出した（株）キャンターは、兵庫県競馬組合場外発売所設置要綱に基づき設置事業者の認定を受けた会社であること、今回ぶらくり丁プリズビルに馬券売り場設置を推進しており、本町地区第4区及び本町地区連合自治会の同意を得ていること、また、年間発売日数210日、営業時間午前10時～午後5時30分（ナイターの場合は午後2時～午後9時）、想定入場者数1日1000人、年間売上見込み額8億7000万円としています。

一方、9月14日、本町連合自治会内の5つの単位自治会から、設置反対の要望書が議長あてに提出されています。

演説会にご参加ください

11月6日(火)
夜7時から
ダイワロイネットホテル

弁士 小池晃政策委員長
くにしげ秀明

みち子のひとりごと 完走！

走りきることにしようかな。

りに納得のいくレースでした。

さて来年の目標は、「ハーフを

今年に走り通し、自分なりに納得のいくレースでした。さて来年の目標は、「ハーフを走りきることにしようかな。」

28日曜日、和歌浦ベイマラソンミチジャズが行われました。私は10キロ女子40〜59歳の部門に参加し、1時間10分02秒、361人中191位でした。雨が降り肌寒い日でしたが、自分のペースで最後まで楽しんで走れました。ゴール手前では、同じ部門の女性がいるのが見えたので（ゼッケンのナンバーでわかります）ラストスパートをかけて少なくとも3人は抜きました（ヤツタネ！）。去年は暑さのせいもあり途中少し歩いたのですが、今年に走り通し、自分なりに納得のいくレースでした。さて来年の目標は、「ハーフを走りきることにしようかな。」



通学路の安全対策 危険個所は23か所？！

京都・亀岡市、千葉、愛知で登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が相次いだことをうけ、文部科学省から「通学路における緊急合同点検」の依頼があったことに対する市の取り組みの報告が9月定例会の委員会最終日に経済文教委員（共産党は姫田議員）に行われました。

市は、通学路における緊急合同点検（文科省からの依頼の前に市独自で行っていたもの）状況の第1回報告を文科省に行ったとのこと。その内容は、報告学校数は16校、危険個所は23か所、対策必要個所は23か所、その内対策予定個所は12か所で残りの11か所は順次点検をしていくというものでした。各委員からは「危険個所が少なすぎないか」など疑問が出されたそうです。

文科省からの依頼と、市独自の事前の点検には内容の違いもあるといいます。もう少し、実態に即した報告をするべきだと思います。

くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



野田首相が所信表明演説をおこない、「明日（あした）の安心」、「明日（あす）への責任」と「明日」という言葉を繰り返しました。

しかし、政治の中心を変え、生活破壊の危機が進行するだけです。消費税に頼らない社会保障と財政の改革、即時原発ゼロの社会への転換の日本共産党の提案を急いで広げなければなりません。

く、消費税増税を決めたことを自画自賛、原発ゼロを求める世論にも背を向けました。これでは現在も明日も安心は得られません。

日本の巨大メディアを考える ②4 志位和夫

さらに、1973年の田中角栄内閣のときの小選挙区制の企てには、ほとんどのメディアが、「民主主義に反する」として批判的キャンペーンをはり、小選挙区制の策動を許しませんでした。そのころあたりまでは、いろいろな弱点を持ちながらも、健全さを発揮した時期もあつたのです。

それが大きく変化していきます。1970年代後半から80年代にかけて日本共産党封じ込めの反共キャンペーンがおこなわれ、とくに1980年の「社会合意」を転機に、日本共産党をのぞく「オール与党」体制がつくられると、そのもとで、権力とマスコミとの癒着が強まってきました。

その決定的な転機になつたのは、1990年代の小選挙区導入だと思えます。この時に、政府の諮問機関として第8次選挙制度審議会（注）がつくられますが、そこに主要メディアの幹部を軒なみ組み込んだのです。この審議会は、27人の委員中、メディア関係者が12人にものぼりました。

（注）第8次選挙制度審議会に参加したメディア関係者は、次の通りです。新井明・「日経」社長、内田健三・元共同通信論説委員長、川島正英・「朝日」編集委員、清原武彦・「産経」論説委員長、草柳大蔵・評論家、元「産経」記者、小林與三次・「読売」社長、日本新聞協会会長、斎藤明・「毎日」論説委員長、中川順・日本民間放送連盟会長、テレビ東京会長、成田正路・NHK解説委員長、橋谷実・「読売」論説委員長、山本朗・中国新聞社長、屋山太郎・評論家・元時事通信解説委員